

# めぐみ

2025年  
4・5月号

学校法人 聖公会北関東学園  
認定こども園  
初雁幼稚園  
〒350-0057 川越市大手町 8-5  
Tel 222-5385 Fax 228-5010

## 4月の記憶から…

園長 山本由香里



4月は新しい出会いの季節、そこで決まっているのが自己紹介。何を言えばいいかわからないと「趣味は？」と聞かれ、余計に困っていたのをよく覚えています。幼稚園から小学生のころは「大きくなったら何になりたい」と聞かれるのに困り、周りのまねをして「お花屋さん」と定型文のように答えるようになりました。花の名前などほとんど知らないのに。

皆さん、趣味はありますか。そもそも趣味とはなんだろう。自分の好きなこと、得意なこと、極めたこと!?得意でもないのに口にしてしまったら、誤解されないかな…と考え過ぎてしまい、趣味ばかりは周りのまねもできず、ほぼ「無趣味」で通してきました。好きなことはありましたが、私なんかよりもうんとじょうずな人がいっぱいいて、口にするのが

恥ずかしく、人前で言えることは何もありませんでした。

学生生活が終わり幼稚園に就職してから、自分で決めて過ごす時間が増え、時間があれば本を読むようになりました。小学生のころは児童文庫にはまり、友だちと貸し借りをして読んでいたことを思い出しました。それ以降は、国語の教科書や受験対策で小説に触れたことで、「好きなこと」が「やらねばならないこと」に変わり、自然と本から遠のいていました。父が本好きで、本を読んでいると休日があつという間に終わる過ごし方にも、違和感を覚えていたのかもしれない。

教科書には出てこない、父も読んでいない、自分で見つけた小説を読むのが嬉しくなり、一人の小説家にはまると全作読み尽くしてから、また新しい小説家との出会いが楽しみになりました。本が増えるとまた元に戻って読み直して…を繰り返す日々です。何度読んでもおもしろくて大好きな小説家は伊坂幸太郎さんです。

毎日、新聞に目を通すのですが、読みやすい記事と読みづらい記事とがあり、ほぼ見出ししか見ていない政治・経済・国際・スポーツ欄…。以前は論説委員の稲垣えみ子さんの記事が大好きで、次はいつ出会えるか楽しみにめぐっていたのですが、10年前に退社されフリージャーナリストに…。残された楽しみは毎週土曜日「オトナになった女子たちへ」のコラムに隔週で登場する漫画家の伊藤理佐さん。少年が「週間ジャンプ」の発売日を楽しみにするのと同様に、伊藤理佐さんの記事が待ち遠しくてたまらず、朝日新聞をやめられないでいます。

ここで気づいたのが、偶然にも好きな作家の名前が「ア行」から始まっている共通点！他にも、父から勧められ大好きになった小説家は、浅田次郎さん。小学生のころにはまったのが赤川次郎さん。元気がもらえる作品でファンになった荻原浩さん。ちなみに荻原さんが高校の大先輩であることはプチ自慢です。そういえば、私は小さいころから「ア行」に憧れていました。私の旧姓は「森田」、ア行になるには結婚がチャンスでしたが、結局「も」が「や」に変わっただけでした。でも、ア行に憧れても学生時代にア行で生きていくのは間違いなく無理でした。ア行は何でも一番にやらなければいけません。ア行の人のまねをしながら、マ行の私は先生の話もろくに聞かずにのびりと生きてきました。ア行の人には本当に感謝ですし、かっこいいなと憧れさせてもらいました。

今は誕生月順、アルファベット順もあるかもしれませんが、私の4月といえば自己紹介、名前の順。本屋は今も名前の順、なぜか安心します。そうか、いまだに名前の順にこだわっている！ことにも気づくことができました。

# 今月の保育目標と予定

## ☆保育目標☆

4月のテーマ  
「神さまに愛されて」

### 4月のねがい

- 新しい出会いの中で、安心して過ごす
- 入園、進級した喜びを大切にする
- お祈りを通して神様と出会う

### 4月の学年別のねがい

- (1歳) 自分が受け入れられていることを感じる
- (2・満3歳) 保育者に親しむ
- (年少組) 幼稚園や保育者に親しむ
- (年中組) 園生活を楽しみにする
- (年長組) 進級を喜び、進んで行動しようとする

5月のテーマ  
「動き出して」

### 5月のねがい

- 身近な自然、生き物やさまざまな素材に触れてみる
- やってみたい遊びに自分から動き出し、楽しみに登園する
- 神様に守られていることを知る

### 5月の学年別のねがい

- (1歳) 園生活になじみ、いろいろなものに気づく
- (2・満3歳) 周りの環境に目を向ける
- (年少組) いろいろなことをやってみる
- (年中組) それぞれに興味を広げて親しむ
- (年長組) 年長ならではの活動を楽しみ、頼られる喜びを感じ始める

## 4・5月の聖歌 「おはよう」

## ★予定★

日	曜	行事などの予定
1	木	
2	金	全体礼拝
3	土	憲法記念日
4	日	みどりの日
5	月	こどもの日
6	火	振替休日 (みどりの日)
7	水	
8	木	親子遠足 (年長) アルミ缶回収
9	金	全体礼拝 ↓
10	土	就労家庭保育実施日 幼稚園委員会①
11	日	
12	月	
13	火	園児内科健診①
14	水	
15	木	はつかりホッとカフェ
16	金	全体礼拝
17	土	就労家庭保育実施日 子育て支援「あそぼうよ！」
18	日	
19	月	プール設置
20	火	おはなしの会
21	水	連絡係打合せ9:30~11:00
22	木	
23	金	全体礼拝
24	土	就労家庭保育実施日 学園理事会
25	日	川越基督教会バザー
26	月	
27	火	
28	水	5月生まれ誕生会 (出し物:年長組)
29	木	
30	金	全体礼拝
31	土	就労家庭保育実施日

初雁幼稚園の教育課程では、1～2歳児の保育部と3歳以上の幼児部に分け、各月保育目標を立てて保育を行っています。月のテーマ、月のねがいとともに子どもたちの姿についてひとこと添えます。今月の聖歌は毎月1曲ふさわしい聖歌を選び、礼拝の時に幼児部で歌います。幼児部の方には聖歌の楽譜を配布しますので、ご家庭でも歌ってみてください。

# チャプレンのページ

## 転換点

「彼らの声に従い、彼らに王を立てなさい。」  
(サムエル記上 第8章 22節)



歴史の中には大きな転換点があります。日本の歴史を見ても、貴族の時代から武士の時代へ、戦乱の時代から太平の時代へ、そして明治維新や第二次世界大戦における日本の敗戦など、それまでの常識や価値が一変したり、世の中の仕組みが一変したりする時が訪れ、人々はその中をくぐりぬけていくことになりました。

聖書の中においても、大きな転換点があいくつも見られますが、今回はその中で、王国時代の始まりから学んでみたいと思います。

イスラエルは全部で 12 部族あり、それぞれが地域を分けて定住し、部族連合社会を築いていました。部族連合社会の指導者が士師と呼ばれる人たちで、主に、諸外国との戦い指揮や人々の裁判官の役割を果たしていました。

戦いを挑んでくる最大の敵がペリシテ人と言われる人たちで、ペリシテ人はイスラエルの南隣へほぼ同時に定住しました。ちなみにこのペリシテ人は、パレスチナの祖先にあたり、イスラエルとパレスチナの対立が今日も続いているのは皆様もご承知の通りで、この対立は実に 3 千年以上の日々が過ぎ去っているのに驚かされます。

そのような中、人々は王政社会への移行を、最後の士師となったサムエルに願い出てきました。部族連合社会ではなく、一人の王を長とする中央集権社会でなければ迫りくる外国からの危機に立ち向かうことができないことや、近隣国の多くが王政制度を採用しているのが主な理由でした。

サムエルはこれに反対でした。自分の働きによってペリシテとの深刻な対立も一区切りつき、国に平静が戻ったばかりだったからです。また、王が誕生することになれば、自分は指導者の座を追われることにもなります。

しかし神様は標記の言葉を言われ、サムエルに王政社会への移行を命じました。サムエルは自分の考えを捨て、王政社会への移行のため働くことになりました。こうして約 100 年続く、サウル王、ダビデ王、ソロモン王を長とする、イスラエル王国が誕生することになり、旧約時代最強の時代を迎えることになったのです。

転換点は恐れや不安が付きまといまいます。私たちもややもすれば前例を参考にして、これまでとなるべく違わない日々を過ごそうとします。教育の世界も保守的であるとよく言われます。しかし、子どもの成長は同じではなく、彼らの生きる社会も激変していきます。これまでとは違う日々を受け入れ、失敗を恐れずに突き進んでいくのは人生の中で不可欠なことです。

エネルギーを使うことは、どなたにとっても大きな困難を伴うのは言うまでもありませんが、いつ訪れるかわからない転換点に、しっかり備える者でありたいと思います。

(チャプレン 鈴木 伸明)



# 今月の聖書のおはなし



毎週金曜日は、幼児部は松江町にある川越キリスト教会にて全体礼拝を行います。すみれ組になると、鐘をならしたり、ろうそくの火を灯したり、献金をお捧げする礼拝当番が回ってきます。全体礼拝では、教職員が聖書のお話を素話で伝えていきます。今年度は旧約聖書を中心にお話します。

## ☆ 4月19日 「主の祈りの話」

マタイによる福音書6:5～15

初雁幼稚園で毎日祈る「主のいのり」。このお祈りはイエス様が教えてくださったお祈りです。最初の全体礼拝でこの大事な主のいのりのお話を聞きます。

## 【天地創造物語】

創世記1章1節～4章16節

### ☆ 4月25日「天地創造 一週間の始まり」

### ☆ 5月2日「アダムとエバ 人間の創造と結婚」

### ☆ 5月9日「蛇の誘惑」

### ☆ 5月16日「カインとアベル」

天地創造の1日目。混沌と闇に覆われた世界に、神さまは「光あれ」とおっしゃって、光を創られました。このように神さまは言葉によって、空、地、海、草木、太陽、月、星、魚、鳥、動物を順々に造られました。第7の日、すべてを完成された神さまは安息なさり、この日を祝福し、聖別されました。

神さまは土の塵で人（アダム）を形作り、その鼻に息を吹き入れられ、エデンの園に住ませました。また、神さまは「人が独りでいるのは良くない。彼に合う助ける者を造ろう」と言って、人を眠らせ、そのあばら骨の一部を抜き取って女の人（エバ）を造られました。こうして人は結婚して二人で暮らすようになりました。

ある日のこと、蛇はエバに、神さまから食べてはいけないと言われていた善悪を知る木の実を食べるように勧めます。蛇の誘惑に負けたエバは木の実を取って食べ、アダムにも渡し、アダムも食べてしまいます。このことを知った神さまは、蛇を呪われたものとし、アダムとエバは、最後は死んで土に帰るものとされ、二人はエデンの園から追い出されてしまいました。

アダムとエバに二人の息子が生まれます。成長したある日、二人は神さまに献げ物を献げますが神さまは弟アベルとその献げ物だけに目を留められました。このことに激しく怒った兄カインはアベルを殺してしまいます。カインは神さまの前から去り、エデンの東に住むようになりました。

## 【ノアの箱舟物語】

創世記6章1節～9章17節

### ☆ 5月23日「ノアの箱舟」

### ☆ 5月30日「虹の役割」

神様は地上の人々の悪事をご覧になり、人を拭い去ることを決められました。しかし、ノアだけは神様に従う人でした。神様はノアに大きな箱舟を作るように命じ、その箱舟にノアとその家族、すべての生き物をつがいで乗せるように言われました。ノアと生き物たちが乗り込むと雨が降り始め40日40夜降り続けました。洪水が起こり、地上のすべてのものは拭い去られました。箱舟に乗っていたものだけが助かったのです。雨がやみ、地上から水が引き、ノアと動物たちは外に出て神さまに感謝の献げものを献げます。神様は「もう洪水で世界を滅ぼすことはしない」と言われ、約束のしるしに虹をかけられたのです。

(山岡 理恵)